

パートナーシップ通信  
10年次- 14号



～ひがしの窓から～

地域教育コーディネーター  
たかはし なおこ ほば まりこ  
高橋 直子 馬場 麻里子  
連絡先: 080-2094-9712  
E-メール: higashiaoyama.es.  
partner@docomo.ne.jp

今年もよろしくお願いたします。

平成30年元旦。きれいな青空が見られ、『今年は、いい年になりそう』と思ったのもつかの間、1月11日午後からの大雪には本当に驚かされました。子どもたちの登校を見守ってくださったセーフティスタッフの皆さん、保護者・地域の皆さん、ありがとうございました。

『もう5回転んだよ』『ちゃんと靴下の替えをもってきたんだ』学校までの道を歩く子どもたち。わざわざ雪の山を上りたくなる気持ち・・・わかるよ。わかるけど学校に遅れちゃうよ。



ひがしの窓より  
あたらしい事  
はじめます！

ちょっとのぞいていきませんか？

### ひがしのまど文庫

地域の皆さん、保護者の皆さん向けに本を貸し出します。

坂井輪図書館との連携により、さまざまな本をひがしの窓に貸していただきました。貸出簿に記入をし、最長2週間借りることができます。なお、本は3ヶ月を目安に入れ替えを行います。また、子どもたちも、休み時間や、ふれあいスクール(楽園キッズ☆)開催時間に利用することができます。

基本的にコーディネーター在室時にご利用いただけます。

今回の本は・・・

読み聞かせに向く絵本(季節・昔あそび・干支など)  
子どもの体の成長について 発達障がいについて  
料理・手芸などの実用本 などを予定しています。



パートナーシップ事業・楽園キッズ☆合同企画  
すこし知ることからはじめてみよう

### 『発達障がいとは・・・』学習会

ひがしの学び  
学習会のお知らせです

新潟市発達支援センターJOIN(ジョイン)多田比外美さんをお迎えし、DVDを観ながらお話をいただきます。

発達障がいの特性はさまざまで、関わり方に正解はないのかもしれませんが。でも少し知ることによって『こんな気持ちなのかな』『これが嫌なのかな』など、関わり方の引き出しを自分なりに増やすことはできるのではないのでしょうか。



日時 2月21日(水) 10:00～12:00  
場所 2階 会議室  
申し込み 別紙 お知らせより、お申込みください

または 地域教育コーディネーター高橋(080-2094-9712)までご連絡ください。  
当日は下学年参観日となっています。昼食持参でゆっくり過ごしていきませんか。

## ひまわりフレンドさんの活動報告。

### 6年生 キャリア教育

様々な職業に携わっている3人の方からお話を伺いました。



**建設コンサルティングってこんな仕事です。**

**建設コンサルタンツ協会 高橋邦夫 さん**

道・川・公園・学校など住みやすい町づくりを考えます。また、災害時には、現状を把握し、復旧への計画をたてて作業につなぎます。この仕事は1人の考えではできません。たくさんの人と話し合い、チームで取り組むことが大切です。

高橋さんの言葉

**「経験+知識=技術力」**

たくさん子どもたちが、メモをとっていました。



**ペーパータワーゲーム**

配られたものをどう使えば、より高いタワーができるでしょう。チームで相談して取り組みます。素材は何か、強度はどうか、ここはテープで貼ったらどうなんだろう……。とりあえず行動する子、少し離れて様子を見る子、様々です。



**お客様に信頼していただけるお店づくり**

**セブンイレブン平島2丁目店 古川喜代子 さん**

1日に9回行われる鮮度管理は、お客様に安心してお買い物をしていただくため。そこから信頼につながります。それぞれのお店で、お客様が何を求めているか、その地域性をすることも、大事なことです。

作業中の手を止め、お客様の方を向いて、まずは挨拶です。  
『いらっしゃいませ！』



**治すことだけが仕事ではありません。**

**小児科医 大橋 伯 さん**

例えば、お腹が痛い人がいます。薬を処方して治すことも大事です。でも、どんな時に痛くなるのかな、どうすれば楽になるのかな……。一緒に考えていくことも大事な仕事だと思っています。正解はひとつとは限りません。また探しても答えの出ないことだってあります。相手の立場に立って考えることは、大切なことです。



3人の講師の皆さんに、大変お世話になりました。就いている職業の紹介だけでなく、この仕事について大事にしていることを、体験などを通じて、わかりやすくお話していただきました。

子どもたちは知っていた仕事の中にも、初めて知った仕事の中にも、いろいろな人の思いが詰まっていることを感じたのではないのでしょうか。